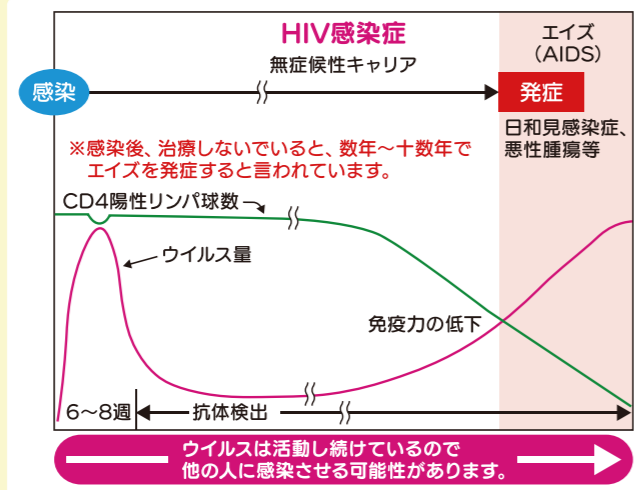


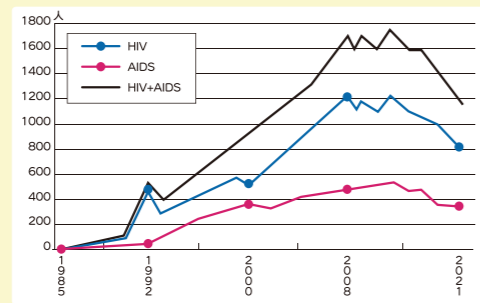
きちんと知ろうエイズ（HIV）のこと

私たちの体には、ウイルスや細菌、カビなどの病原体から体を守る「免疫」という仕組みがあります。HIV（ヒト免疫不全ウイルス）は、主に人間の免疫力の中心的な役割を果たすCD4陽性リンパ球に感染し、これを破壊します。このため、普段なら何ともないウイルスや細菌、カビなどの病原体に感染しやすくなり、様々な病気が引き起こされます。こうして起こる病気を総称してエイズ（後天性免疫不全症候群）といいます。



最近の動向

2021年末現在、世界のHIV陽性者数は3,840万人。新規HIV感染者数は年間150万人、エイズによる死亡者数は年間65万人となっています。国内では、2021年にHIV感染者・エイズ患者報告数は1,057件で、特に20代～40代の方が多く状況です。感染経路は性的接触が大半で、その多くは男性同性間の性的接触によるものとなっています。なお、エイズを発症してはじめてHIV感染を知る人が約3割いますので、自身がHIVに感染していることを知らない人が数多くいると考えられます。



日本における新規HIV感染者数・エイズ患者の推移

最近のエイズ治療

エイズが発見された1980年頃は薬がなく、エイズを過度に恐れた人々によってエイズ患者はひどい差別を受けました。HIVは会話や握手、食事などの日常生活では感染しませんが、正しい知識がなく、HIV感染を理由に職場への採用が取り消されるなどの差別がおこっています。現在でも、まだHIVに感染した人からウイルスを完全になくす薬は開発されていませんが、エイズの発症を遅らせる薬や免疫力が低下して起こってくる感染症に対する薬は研究が進んでいます。そのため、早期発見・早期治療を行うことができれば、HIVに感染しても長く生きられるようになりました。早期に感染が分かった人のほとんどが、薬を飲みながら今まで通りの生活をし、感染していない人と変わらない社会生活を送っています。しかし、ウイルスを体から完全になくせるわけではないので薬は毎日一生飲み続けなければなりません。

HIVの理解・支援の輪を広げる取り組みのご紹介

(1) 神戸市におけるHIV・エイズ支援

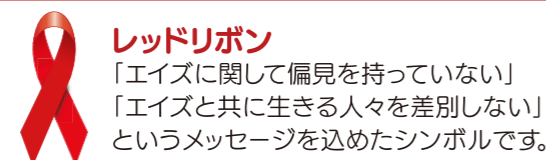
H17年7月、神戸において開催された第7回アジア・太平洋地域エイズ国際会議（ICAAP:アイキャップ）を契機に、エイズ及び性感染症の予防やHIV陽性者とともに生きる地域社会の実現を図る啓発イベントを実施しています。また、神戸市ではHIV・エイズ患者が安心して治療が継続できる環境作りを行うため、患者に携わる支援者同士で定期的なエイズネットワーク連絡会を開催しています。

(2) 世界エイズデー（12月1日）

エイズのまん延防止と患者・感染者に対する差別・偏見の解消を目的に、WHO（世界保健機構）が1988年に制定しました。神戸市においても世界エイズデーにちなんだ講演会などの催しに共催するなど、啓発に取り組んでいます。

(3) エイズ性感染の予防・啓発等の推進事業

エイズ及び性感染症の予防を推進し、HIV陽性者と共に生きる地域社会の実現を図るNPO・NGO等のボランティア活動に対する支援（助成金の交付）などに取り組んでいます。



こんな取り組みもやってみよう



性感染症に関する検査・相談窓口

性感染症が心配なときは、保健所や病院で検査を受けましょう。申し込み方法、実施日時等は、ホームページをご確認ください。検査の結果は、ご本人に直接説明しますので、指定日時に再度来所して下さい。

神戸市保健所で行っている検査（無料・匿名）

※感染の機会から約3ヶ月以上経過していないと正確な結果が得られない場合があります。

(1) 平日夜間 HIV・梅毒・クラミジア（検査項目の選択ができます）

- ・原則毎週水曜日 18時～20時／三宮センタープラザ西館6階会議室
- ・結果説明は1または2週間後の水曜日

(2) 土曜日即日 HIV 抗体検査

- ・月1回指定土曜日 13時～14時／三宮センタープラザ西館6階会議室
- ・結果は当日、採血後1～2時間程度で分かります
- ※結果が「判定保留」になった場合はさらに詳しい検査をします。結果説明は1週間後

保健所での検査の流れ



各種相談窓口

(1) 各区役所内保健センター・市役所内保健所保健課 平日：8:45～17:15

区役所	所在地	電話(上段)/FAX(下段)	区役所	所在地	電話(上段)/FAX(下段)
東灘	東灘区住吉東町5丁目2-1	841-4131 (代) 841-5070	長田	長田区北町3丁目4-3	579-2311 (代) 579-2344
灘	灘区桜口町4丁目2-1	843-7001 (代) 843-7018	須磨	須磨区大黒町4-1-1	731-4341 (代) 735-8515
中央	中央区東町115番地	335-7511 (代) 335-6644	北須磨支所	須磨区中落合2丁目2-5	793-1313 (代) 795-1140
兵庫	兵庫区荒田町1丁目21-1	511-2111 (代) 511-0203	垂水	垂水区日向1丁目5-1	708-5151 (代) 706-2329
北	北区鈴蘭台北町1丁目9-1	593-1111 (代) 593-1201	西	西区糀台5丁目4-1	940-9501 (代) 991-6639
北神	北区藤原台中町1丁目2-1	981-5377 (代) 981-9056	保健課	中央区加納町6丁目5-1	322-6789 322-6763

悩まないで相談してね!



(2) 民間団体の相談窓口

HIV ピアサポートグループ(コパン)	神戸市を拠点に活動する HIV 陽性者の自助グループ。原則、毎月第 2 土曜日の午後、神戸市内で定例会を開催。電話:090-6608-7480 (随時)
ともいきネット	HIV と性の多様性について考える、エイズ対策の中から生まれた理念によって運営されている団体。http://tomoki-net.com
(財) エイズ予防財団	エイズに関する相談電話 平日：10～13時 / 14～17時 (年末年始除く) 電話：0120-177-812 (携帯電話からは 03-5259-1815)
AMDA 国際医療情報センター	電話による外国語での医療機関の情報提供 (Telephone Consultation for medical matters) 電話：03-6233-9266 平日：10～16時 (祝日、年末年始除く)

(3) インターネットによる情報提供

HIV 検査・相談マップ	全国の検査機関・日時などの紹介サイト http://www.hivkensa.com
API-Net エイズ予防情報ネット	エイズに関する情報提供サイト http://api-net.jfap.or.jp/



知っとこ ホンマのこと

みんな知ってる？ 性感染症

性感染症にかかったかもしれないとき

病院や保健所で実施している検査を受けましょう

正しい知識で予防しましょう

性感染症の

早期発見

早期治療!



性感染症の概要

近年、10～20代の若者を中心に性感染症が増えています。性感染症とは、主に性行為（セックス）によって感染する病気のことです。性感染症の中には、症状があらわれない、また症状があっても気づきにくい病気もあるため、知らず知らずのうちに感染し、他の人へ感染を広げている場合もあります。「私は大丈夫！」と思っても、性行為の機会があれば誰にでも起こりうる病気です。

性感染症はどのような病気、どうすれば予防できるのかを知り、自分自身を、また大切な人を性感染症から守りましょう。

神戸市

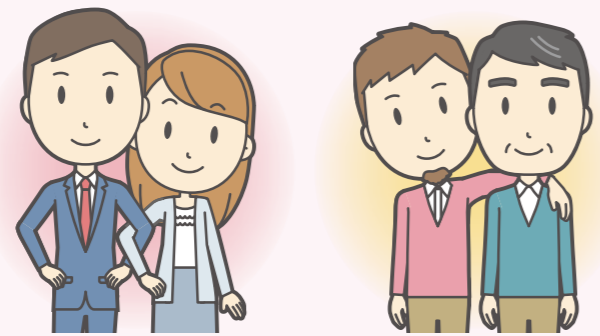
KOBE CITY of DESIGN

性感染症って何？

性感染症とは、主に性行為によって感染する病気のことをいいます。感染した（病気にかかっている）人の精液、膣分泌液、血液のほか、性器、口腔などの病原体をもった場所の分泌液が、性行為によって相手の性器、口腔、肛門などの傷がついた粘膜に触れることによってうつります。病気によって、感染部位の痛みやかゆみ、排尿痛、おりものの異常から、まったく違和感を覚えない無症状のものまで、現れる症状もさまざまです。

また、原因となる病原体もウイルス・細菌・原虫などいろいろあります。

※このパンフレットでいう性行為（セックス）には、膣性交、口腔性交（オーラルセックス）、肛門性交（アナルセックス）を含みます。



性感染症をしっかりと防ごう！！

①正しい知識を身につけよう

性感染症を予防するには、感染予防や症状、治療について正しく知ることが大切です。

②自分の意思をはっきり表示しよう

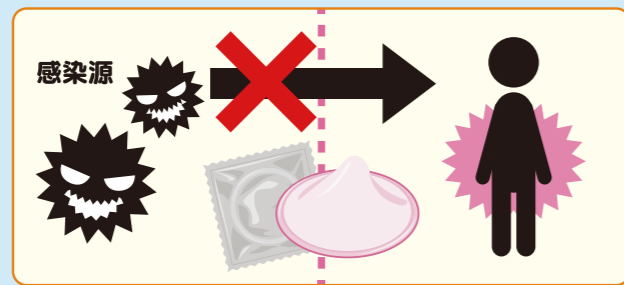
性行為の時、コンドームの使用をパートナーに言い出せなかったことはありませんか？ 自分のからだを守るのは自分だけです。パートナーとしっかりと話し合い、意思表示をしましょう。

③NO SEX（セックスしない）

ノーセックスも予防のための大事な選択肢です。

④SAFER SEX（より安全なセックス）

コンドームを正しく使うことが有効です。口腔性交、肛門性交でも性感染症に感染します。感染を防ぐためには、コンドームの正しい使用が大切です。※コンドームでおおわない部分の皮膚や粘膜にできものなどの病変がある場合は、コンドームでは予防できないことがあります。



ピルでは性感染症は防げません。

Q1 特定の相手だから大丈夫・・・？

あなたがつきあっているパートナーは1人でも、そのパートナーが過去につきあっていた人の中に感染者がいた場合、パートナーも感染している可能性があります。もちろん、不特定多数の人と性行為であれば、感染リスクは上がります。

Q2 口腔性交（オーラルセックス）なら大丈夫・・・？

梅毒や性器クラミジア感染症、淋菌感染症など、口腔性交によって口唇（くちびる）や舌、咽頭（のど）などにも感染する可能性があります。

Q3 日常生活の中で感染することはない・・・？

「もし周囲に性感染症の人がいたら」・・・と不安に思う人もいるかもしれませんが、多くの性感染症は、通常の生活の中で感染することはまずありません。ただし、血液が付きやすいカミソリや歯ブラシ、ピアスなどの共用は避けましょう。



咳・くしゃみ



握手



入浴

こんなことでは感染しません

大丈夫！

性感染症に感染したかもしれないとき・・・



症状がおさまり一旦治ったからと
放っておくと・・・

男性は精巣管や精巣上体、女性は卵管や子宮の炎症を起こし、不妊症の原因になることがあります。
また、妊娠できても流産や早産のリスクをとまったり、赤ちゃんに病気が感染する（母子感染）・・・なんていう危険もあるのです。



性感染症は早期発見・早期治療が大切！

ほとんどの性感染症には、治療方法があります

ほとんどの性感染症は、早めにきちんと治療すれば治ります。医師の指示に従って、確実に治療しましょう。しかし、再発しやすいものや、一生のお付き合いになるもの、治りにくいものもあります。

「もしかしたら・・・」と思ったら、恥ずかしがらずに医療機関を受診することが一番大切です。

ほとんどの性感染症は検査で感染しているかどうかわかります。神戸市保健所では、HIV・梅毒（血液検査）、クラミジア（尿検査）の検査を無料・匿名で実施しています。他にも、性感染症科、または女性は婦人科、男性は泌尿器科の医療機関でも検査を受けられます（有料）。（皮膚に異常があるときは、皮膚科でもOK）

また、パートナーと一緒に検査をうけ、必要ならば、一緒に治療しましょう。治るならかかって良かったとは思わずに、予防しましょう。

ほとんどの性感染症は何度でも感染するおそれがあります。治療後も性感染症の予防に気をつけなければなりません。

おもな性感染症

＼症状に気がいたら医療機関へ／

梅毒 近年増加

最近感染者が増加している。病気が進む中で、症状の出ない時期もあり、治ったと勘違いしてしまうことがあるので注意が必要。妊娠中に梅毒に感染していると、胎盤を通じてお腹の赤ちゃんにも感染する。（死産、早産、奇形など）
症状 第1期：感染した部位に赤みのあるしこり（初期硬結）、中心部がへこんだできもの（硬性下疳）（痛みはない）。
太もものつけ根のリンパ節が腫れる
第2期：全身に紅い斑点ができる（手のひらにも）
潜伏期：無症状（それまでの症状が消える）
晩期：心臓・血管・脳などへの障害
潜伏期間 3週間前後

性器ヘルペスウイルス感染症

一度感染すると、体内の神経にウイルスが潜伏して再発を繰り返すことがある。
口唇（くちびる）に多いⅠ型と陰部に多いⅡ型がある。
症状 感染部分に水疱・潰瘍ができる。※症状がないこともある。
急性：外陰部の強いかゆみ・痛み、発熱
潜伏期間 2～10日

尖圭コンジローマ

性器にかゆみを感じることもある。先のとがったカリフラワーのようなイボがたくさんできる。肛門性交で、肛門に感染することもある。
症状 イボ状の小潰瘍ができる、痛みはない。
潜伏期間 3ヶ月前後

子宮頸がん

子宮の入口にできる女性特有のがんで、性交時にHPV（ヒトパピローマウイルス）が感染して起こる病気。20代後半から40歳前後まで増加し、日本では1年間に約1万人が発症している。
症状 初期の段階では症状はほとんどないが、進行するとおりものが増えたり、不正出血がある。
ワクチンと検診
HPVの感染を予防するワクチンあり。平成25年（2013年）から小学校6年生から高校1年生相当の女性を対象に定期接種（無料）の制度あり。
20歳から子宮頸がんの市民検診制度あり。

性器クラミジア感染症

男女ともに症状が軽いため、気がつかないことが多いが、放っておくと、男性は精巣炎や前立腺炎になったり、女性は、不妊や子宮外妊娠の原因になるので注意が必要。
症状 男性：約半数が無症状、排尿時の痛み
女性：約8割が無症状、約2割におりものの増加、軽い下腹部痛
※口腔性交で咽頭（のど）に、肛門性交では肛門に感染することもあるが、多くは無症状。
潜伏期間 2～10日

淋菌感染症

男性は排尿時の痛みやペニスの先からの膿（うみ）で気づきやすいが、女性は症状が軽く、感染していても気づかないことが多い。放っておくと、男性は精巣上体炎、女性は子宮頸管炎などから不妊症の原因となる場合がある。
症状 男性：排尿時の痛み、ペニスの先からの膿
女性：無症状、軽い排尿痛、おりものの増加
潜伏期間 2～7日

B型肝炎

B型肝炎は急性と慢性に分けられ、成人における急性B型肝炎の多くは性感染症が原因。慢性化すると肝硬変や肝がん等、健康に重大な影響を及ぼす。母子感染や血液感染（針刺し事故、薬物乱用等）
症状 急性肝炎の場合、発熱や倦怠感等がある。慢性肝炎の場合、はっきりとした症状が出ず、気がつかないうちに肝硬変や肝がんに進行する。
ワクチン
B型肝炎ウイルスの感染予防のためのワクチンあり。
潜伏期間 1～6ヶ月

HIV感染症／エイズ（後天性免疫不全症候群）

ヒト免疫不全ウイルス（HIV）感染により免疫が低下する病気。病気が進行すると、次第に抵抗力が弱まり、健康なときならなんでもないウイルス、細菌、カビなどの病原体によって、色々な病気が引き起こされ、エイズを発症する。
症状 感染初期（6～8週ごろ）：
一過性の発熱やリンパ節の腫れ、のどの痛みなどがあるが気づかない人も多い。
無症候期（数ヶ月～数年）※個人差あり：
特別な症状はない。
エイズ発症：日和見感染や悪性腫瘍、脳神経症状